

令和3年度 定期作況報告

(8月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

I 気象概況

7月下旬の平均気温は平年より3.2℃高く、降水量は平年の0%、日照時間は平年の183%であり、高温・少雨・多照に経過した。

8月上旬の平均気温は平年より2.5℃高く、降水量は平年の146%、日照時間は平年の89%であり、高温・多雨に経過した。

8月中旬の平均気温は平年より3.8℃低く、降水量は平年の23%、日照時間は平年の124%であり、低温・少雨・多照に経過した。

7月下旬から8月中旬までの平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の51%、日照時間は平年の133%であった。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			通算		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	25.3	22.1	3.2	25.2	22.7	2.5	18.0	21.8	△ 3.8	22.9	22.2	0.7
最高気温(℃)	32.0	27.1	4.9	31.0	27.9	3.1	23.1	26.2	△ 3.1	28.8	27.1	1.7
最低気温(℃)	20.1	18.4	1.7	21.2	18.8	2.4	14.2	18.4	△ 4.2	18.6	18.5	0.1
降水量(mm)	0.0	28.5	△ 28.5	65.5	44.9	20.6	23.5	100.7	△ 77.2	89.0	174.1	△ 85.1
日照時間(hr)	113.8	62.3	51.5	55.8	62.6	△ 6.8	54.4	44.0	10.4	224.0	168.9	55.1

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作況

5月20日 平年並

事由: 播種は平年並の4月16日に行った。4月第4半旬は寡照に経過し、出芽期は平年より1日遅い4月23日であった。4月下旬から5月中旬までを通じた平均気温および日照時間は平年並であった。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗において、草丈は9.4-9.5cmで平年より短く、茎数は1.0本/個体と平年並であった。主稈葉数は3.1-3.2枚と平年並で、100本あたりの地上部乾物重は1.96-1.98gと平年より小さかった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21と平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由: 5月第5半旬の平均気温は平年並に経過し、活着は良好であった。5月第6半旬は低温・寡照に経過したが、6月上旬から6月中旬までは高温・多照に経過した。

6月20日において、草丈は26.5-28.0cmと平年よりやや短く、茎数は324-375本/m²、主稈葉数は7.3-7.5枚とそれぞれ平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

7月20日 平年並

事由: 6月下旬および7月中旬までの平均気温は平年並から高温に経過し、幼穂形成期は平年より2日、止葉期は平年より3日早かった。

7月20日において、草丈は68.0-71.7cmと平年並からやや長く、茎数は610-725本/m²と少なく、主稈葉数は10.0-10.4枚と平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

8月20日 やや不良

事由: 7月第5半旬の平均気温は高温に経過し、出穂期は平年より4-5日早く、穂揃日数は平年より1.0-1.2日短かった。8月中旬は低温に経過したが、7月下旬から8月中旬を通じた平均気温はやや高温に、日照時間は多照に経過した。

乳熟期において、稈長は61.2-61.9cm、穂長は15.3-15.7cmと平年よりやや短く、穂数は604-705本/m²と少なかった。一穂粒数は40.5-50.2本/粒と平年並で、稈実粒数は26.9-28.9千粒/m²と平年よりやや少なかった。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.16	4.16	0	4.16	4.16	0	
出芽期 (月.日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1	
移植期 (月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1	
幼穂形成期 (月.日)	6.28	6.30	△ 2	6.28	6.30	△ 2	
止葉期 (月.日)	7.14	7.17	△ 3	7.15	7.18	△ 3	
出穂期 (月.日)	7.22	7.27	△ 5	7.23	7.27	△ 4	
成熟期 (月.日)		9.14			9.13		
穂揃日数 (日)		7.0			7.2		
登熟日数 (日)		49			48		
生育日数 (日)		151			150		
草丈(cm)	移植時	9.5	10.7	△ 1.2	9.4	10.4	△ 1.0
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.1	3.2	△ 0.1	3.2	3.3	△ 0.1
地上部乾物重(g/100本)	移植時	1.96	2.35	△ 0.39	1.98	2.30	△ 0.32
地上部乾物重/草丈	移植時	0.21	0.22	△ 0.01	0.21	0.22	△ 0.01
草丈 (cm)	6月20日	28.0	29.7	△ 1.7	26.5	29.8	△ 3.3
	7月20日	71.7	67.7	4.0	68.0	68.1	△ 0.1
茎数 (本/㎡)	6月20日	324	320	4	375	392	△ 17
	7月20日	610	716	△ 106	725	834	△ 109
主稈葉数 (枚)	6月20日	7.3	7.0	0.3	7.5	7.2	0.3
	7月20日	10.0	10.1	△ 0.1	10.4	10.4	0.0
	止葉	10.0	10.1	△ 0.1	10.4	10.5	△ 0.1
稈長 (cm)		61.9	66.8	△ 4.9	61.2	65.0	△ 3.8
穂長 (cm)		15.7	16.1	△ 0.4	15.3	16.8	△ 1.5
穂数 (本/㎡)		604	673	△ 69	705	789	△ 84
一穂粒数 (粒/本)		50.2	50.2	0.0	40.5	40.7	△ 0.2
粒数 (千粒/㎡)		30.3	33.8	△ 3.5	28.6	32.1	△ 3.5
稈実歩合 (%)		95.4	93.5	1.9	94.2	92.9	1.3
稈実粒数 (千粒/㎡)		28.9	31.6	△ 2.7	26.9	29.8	△ 2.9
登熟歩合 (%)			86.3			82.4	
登熟粒数 (千粒/㎡)			29.2			26.5	
粒摺歩合 (%)			77.1			74.6	
屑米歩合 (%)			5.7			8.7	
精玄米千粒重 (g)			22.9			23.4	
わら重 (kg/a)			64.2			64.2	
精粒重 (kg/a)			77.2			76.3	
精玄米重 (kg/a)			59.5			56.9	
屑米重 (kg/a)			3.6			5.4	
収量平年比 (%)			100			100	
検査等級			2上			2上	

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=180cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/㎡ 4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和3年7月下旬～8月中旬までの概況は次のとおりである。

7月

下旬：期間中の5日間は夏日、6日間は真夏日であり、平年より最高気温が4.2℃高く、平均気温は3.0℃高かった。降水量は平年の23.8mmに対して0mmであった。日照時間は185%であり、高温・少雨・多照であった。

8月

上旬：期間中の2日間は夏日、7日間は真夏日であり、平年より最高気温が2.8℃高く、平均気温は2.4℃高かった。降水量は6月21日～8月3日までの43日間の合計が4mmという強い干ばつであったが、8月4日、10日の2日間に50mmを超えるまとまった降雨があり、期間中の降水量は平年の317%であった。日照時間は105%であり、高温・多雨であった。

中旬：平均気温は平年より3.8℃低く、低温に経過した。降水量は平年の21%、日照時間は151%であり、低温・少雨・多照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より0.6℃高く、降水量は平年の92%、日照時間は平年の146%であり、多照であった。

気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7月	下旬	24.3	21.3	3.0	30.2	26.0	4.2	19.2	17.7	1.5	0.0	23.8	△ 23.8	0.0	2.8	△ 2.8	102.2	55.3	46.9
8月	上旬	24.3	21.9	2.4	29.7	26.9	2.8	20.4	18.0	2.4	117.5	37.1	80.4	3.0	3.1	△ 0.1	59.7	56.7	3.0
	中旬	17.2	21.0	△ 3.8	21.7	25.4	△ 3.7	13.5	17.6	△ 4.1	17.5	85.4	△ 67.9	3.0	4.2	△ 1.2	60.4	40.0	20.4
平均(合計)		22.0	21.4	0.6	27.3	26.1	1.2	17.7	17.8	△ 0.0	135.0	146.3	△ 11.3	6.0	10.1	△ 4.1	222.3	152.0	70.3

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦(令和2年播種)

令和2年10月20日作況：やや不良

事由：9月上中旬は断続的に降雨があったため播種作業は遅れ、播種期は平年より4日遅い9月23日となった。播種後の気温は概ね平年並に推移したが、出芽期は平年より5日遅い10月1日となった。出芽が遅れたことから、10月20日現在で草丈、茎数ともに平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

令和3年5月20日作況：平年並

事由：越冬前後の茎数は平年並で、越冬後の茎数の目安である800～1300本/m²を上回った。積雪期間は平年より5日短い115日で、雪腐病による冬損は軽微でほぼ平年並であった。5月20日現在の草丈、茎数はほぼ平年並となった。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和3年6月20日作況：やや良

事由：出穂期は平年より5日遅い6月5日となった。6月上旬以降は高温多照に経過し、生育は旺盛となった。6月20日現在の草丈は平年よりやや長く、茎数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

令和3年7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降小雨・多照に経過し、また7月中旬は高温となった。このため登熟は早く進み、成熟期は平年より1日遅い7月18日で、登熟期間は平年より4日短かった。成熟期における稈長は平年より長く、穂数は多かったが、穂長はやや短かった。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和3年8月20日作況：やや不良

事由：6月下旬以降の少雨・多照により赤さび病が多発した。平年より穂数は多く、容積重はやや重かったが、千粒重は平年より軽く、子実重は平年比95%とやや低収であった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R2.月.日)	9.23	9.19	4
出芽期	(R2.月.日)	10.1	9.26	5
出穂期	(R3.月.日)	6.5	5.31	5
成熟期	(R3.月.日)	7.18	7.17	1
冬損程度	(0:無~5:甚)	0.5	0.4	0.1
草丈 (cm)	R2.10.20	17.1	19.3	△ 2.2
	R3.5.20	55.7	52.9	2.8
	R3.6.20	99.3	95.7	3.6
茎数 (本/m ²)	R2.10.20	529	717	△ 188
	越冬前(11月)	1374	1373	1
	越冬後(4月)	2155	2071	84
	R3.5.20	1288	1315	△ 27
	R3.6.20	856	794	62
成熟期に おける	稈長 (cm)	91	87	4
	穂長 (cm)	8.2	9.0	△ 0.8
	穂数 (本/m ²)	856	734	122
倒伏程度	(0:無~5:甚)	0.0	1.0	△ 1.0
子実重	(kg/10a)	690	725	△ 35
容積重	(g)	828	816	12
千粒重	(g)	36.4	39.7	△ 3.3
品質	(等級)		1等	
子実重平年対比 (%)		95	100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成29年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春まき小麦

5月20日作況: やや不良

事由: 本年の根雪終(融雪剤散布)は、平年より5日早い3月25日であった。播種期は平年より2日遅い4月16日であった。播種後、やや低温に経過したため出芽期は平年より6日遅い5月3日(「春よ恋」)と5月4日(「はるきらり」)であった。出芽期が遅かったことから、現在の草丈は平年より短く、茎数も平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

6月20日作況: やや不良

事由: 5月下旬が低温湿潤であったため、生育はやや停滞した。6月に入り生育は回復してきており、出穂期は平年より5日遅いにとどまった。草丈は平年よりやや低く、茎数はやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況: やや良

事由: 稈長は平年並で、穂数は平年比109～113%とやや多い。倒伏の発生はなく、赤かび病の発生もほぼない。登熟も順調である。ただし、「春よ恋」で赤さび病が多発したため、収量への影響が懸念される。「はるきらり」には特段の障害はない。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日作況: やや良

事由: 成熟期は平年より3日早かった。出穂から成熟期までの日数は、「春よ恋」で41日(平年43日)、「はるきらり」で44日(平年46日)となり、平年より2日短かった。千粒重は平年比96～97%と軽かったが、穂数が平年比109～113%とやや多かった。そのため、子実重は、赤さび病が多発した「春よ恋」で平年比102%、障害がなかった「はるきらり」では平年比111%となった。子実の充実は良好であり、容積重は平年より重かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		春よ恋			はるきらり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.16	4.14	2	4.16	4.14	2
出芽期	(月.日)	5.03	4.27	6	5.04	4.28	6
出穂期	(月.日)	6.19	6.14	5	6.18	6.13	5
成熟期	(月.日)	7.30	7.27	3	8.01	7.29	3
草丈	5月20日	17.2	23.9	△ 6.7	18.7	26.4	△ 7.7
(cm)	6月20日	79	85	△ 6	78	88	△ 10
茎数	5月20日	443	703	△ 260	361	660	△ 299
(本/m ²)	6月20日	624	639	△ 15	626	640	△ 14
7月20日	稈長 (cm)	88	90	△ 2	87	88	△ 2
または	穂長 (cm)	8.8	8.4	0.4	8.5	7.6	0.9
成熟期	の 穂数 (本/m ²)	498	458	40	511	452	59
子実重	(kg/10a)	526	515	11	618	558	60
千粒重	(g)	40.7	42.6	△ 1.9	45.2	46.4	△ 1.2
容積重	(g)	852	836	16	850	837	13
品質	(等級)		1等			2上	
子実重	平年対比 (%)	102	100	2	111	100	11

注) 注) 平年値: 前7か年中、平成28年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均。

3. 大豆

6月20日 やや良

事由：播種期は平年より3日早い5月19日、出芽期は平年並の6月2日であった。出芽後の気温が高く推移したことから、主茎長はやや長く、主茎節数もやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日 やや良

事由：開花期は平年より4日早い7月12日であった。主茎長、主茎節数、分枝数のいずれも平年をやや上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日 良

事由：主茎長は平年よりやや短い、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや多く、莢数は平年比122%と上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

品種名		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
項目	年次			
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	6.2	6.2	0
開花期	(月.日)	7.12	7.16	△ 4
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	12.8	9.8	3.0
	7月20日	44.9	39.5	5.4
	8月20日	49.0	51.3	△ 2.3
	9月20日		50.9	
	成熟期		51.2	
主茎節数 (節)	6月20日	3.3	2.9	0.4
	7月20日	9.9	9.3	0.6
	8月20日	9.9	9.7	0.2
	9月20日		9.7	
	成熟期		9.8	
分枝数 (本/株)	7月20日	7.8	6.5	1.3
	8月20日	8.1	7.1	1.0
	9月20日		6.8	
	成熟期		6.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日	90.9	74.2	16.7
	9月20日		67.3	
	成熟期		67.0	
一莢内粒数			1.89	
子実重 (kg/10a)			408	
百粒重 (g)			39.0	
屑粒率 (%)			1.7	
品質 (等級)			2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より2日遅い5月26日であった。出芽期は平年より3日早い6月10日であった。6月20日現在で主茎長は平年より長く、主茎節数は平年よりやや少ないことから、生育は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降は小雨多照となり、また7月中旬は高温となった。このため、主茎長は平年より長い、主茎節数および分枝数は平年より少ない。このため生育は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である

8月20日作況：不良

事由：開花期は平年より2日遅かった。開花期以降は、高温・多照・少雨に経過し、干ばつとなった。このため生育は抑制され、主茎節数は平年並であるが、主茎長は平年より短い。また花落ちが発生し、着莢数は著しく少なく、分枝数は少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.26	5.24	2
出芽期	(月.日)	6.10	6.13	△ 3
開花期	(月.日)	7.28	7.26	2
成熟期	(月.日)		9.14	
主茎長 (cm)	6月20日	6.3	4.0	2.3
	7月20日	20.6	17.7	2.9
	8月20日	47.7	62.5	△ 14.8
	成熟期		64.1	
主茎節数 (節)	6月20日	1.4	1.6	△ 0.2
	7月20日	7.3	8.1	△ 0.8
	8月20日	14.7	14.7	0.0
	成熟期		14.4	
分枝数 (本/株)	7月20日	2.6	2.9	△ 0.3
	8月20日	3.3	3.7	△ 0.4
	成熟期		3.8	
着莢数 (莢/株)	8月20日	8.5	56.8	△ 48.3
	成熟期		52.3	
一莢内粒数			6.17	
子実重	(kg/10a)		330	
百粒重	(g)		13.3	
屑粒率	(%)		5.5	
品質	(等級)		4上	—
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数は平成30年も除いた4カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より7日早い3月27日で、植付期は平年より2日早い4月23日、萌芽期は平年より1日早い5月20日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：5月下旬は低温寡照であったが、6月は気温が高く多照に経過したことから、開花始は平年並であった。茎長はやや短い、茎数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬からまとまった降雨がなく、6月下旬および7月中旬が高温多照であったことから、圃場は干ばつ傾向で推移した。7月20日現在で茎数は平年並であり、茎長が平年より短い。7月上旬より茎葉の萎凋が生じており、早期枯凋による塊茎肥大期間の短縮が懸念される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：不良

事由：気温は、7月下旬および8月上旬が高く、8月中旬は低温となった。8月上旬までまとまった降雨がなく、圃場は著しい乾燥状態となった。8月20日現在、早期に枯凋した株がある一方で、降雨により茎葉の再生ならびに塊茎の二次成長がみられる。株当たりの上いも数がやや多いが、上いも平均一個重は平年を下回り、上いも重は平年比81.4%と平年を大きく下回った。でん粉価は平年よりやや低かった。

以上により、本年の作況は不良である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.23	4.25	△ 2
萌芽期	(月.日)	5.20	5.21	△ 1
開花始	(月.日)	6.17	6.17	0
枯凋期	(月.日)		8.19	
茎長	6月20日	35	39	△ 4
(cm)	7月20日	39	46	△ 7
茎数	6月20日	5.1	4.5	0.6
(本/株)	7月20日	5.0	4.8	0.2
8月20日における				
上いも数	(個/株)	13.2	12.0	1.2
上いも平均一個重(g)		65	89	△ 24
上いも重	(kg/10a)	3807	4677	△ 870
でん粉価	(%)	15.3	15.7	△ 0.4
枯凋期における				
上いも数	(個/株)		12.0	
上いも平均一個重(g)			89	
上いも重	(kg/10a)		4687	
中以上いも重(kg/10a)			3971	
でん粉価	(%)		15.5	
上いも重平年対比 (%)			100	
中以上いも重 // (%)			100	
でん粉価 // (%)			100	

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年平均。
「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。